

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域の中に少しずつではあるが、浸透してきている。災害避難の指定場所にも指定されている。更に認知症としての施設である事の認識を高める為に、専門職を生かした、勉強会等の開催をしたりして更なる地域の理解を深めてほしい。	スタッフがキャラバンメイトの資格を取得し、地域の公民館等で勉強会や講座を開催し、更に地域に密着して行く。	すでに9月に、保育園にて、キャラバンメイト活動を実行したが、スタッフにも資格を取得する事を応援し、色々ば場面で地域の為に活動できる様に取り組んで行く。	12ヶ月
2	4	現状、運営推進会議に専門的な分野の参加もあるが、更に知見者や医療関係者、同業者をメンバーに加え質の向上に成果をあげる事を期待したい。	現在参加の同業者のみならず、医療関係者の参加を多くし、意見交換する事に情報を収集し、サービスの質を上げる。	定期的に看護師の参加を検討して行く。又同業者も固定せず、ほかの施設へのアプローチもして行く。主治医の参加も年に1度ほど、相談して行く。	6ヶ月
3	26	3ヶ月の見直しを基本としている。発語のない方への関わりも取り組んでいるが、身体状況に関した計画に止まらず、気持ちに添った個別ケアの継続を期待する。	利用者様主体の暮らしを支援する為の個別計画を継続し、利用者様の気持ちを反映できる様な計画を作成する。	センター方式を更に活用し、基本情報の把握、又変化の伴う情報の共有を密にし、ユニット会議、ホーム会議等において、スタッフ間の話し合いを十分に行い、本人に即した計画として行く。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。